

「復興農学会」幹事会（第8回）議事録

文責 新田 洋司（福島大学）

日時 2023年12月5日（火）18時00分～18時25分

方法 ZoomによるWeb会議

出席者 石井 秀樹（福島大学）、内田 修司（福島工業高等専門学校）、大川 泰一郎（東京農工大学）、黒瀧 秀久（東京農業大学）、佐伯 爽（福島大学）、杉野 弘明（山口大学）、新田 洋司（福島大学）、溝口 勝（東京大学）
（敬称略）

議事録

1. 各大学等における会員の確認・入会の状況について（新田）

新田より会員の確認・入会状況が報告された（下表）。日本学術会議に協力学術研究団体として登録する要件は100名以上（研究者が半数以上）でありその数は満たしているが、十分な数（120名程度以上）が欲しいこと、については各大学等においてさらなる会員の入会を依頼したいことが報告された。

会員数（2023年12月5日現在）
東京大学：5名
東京農工大学：11名
福島工業高等専門学校：3名
東北大学：4名
東京農業大学：4名
明治大学：7名
山口大学：1名
福島大学：30名
その他（幹事不在の大学等）：38名
計：103名

2. 本年度の研究会・総会の開催について（新田）

新田より、本年度の研究会・総会の開催について幹事による事前の調査の結果、2024年3月9日（土）が候補となることが報告された。開催場所については審議の結果、福島大学とし、リモートを併用して開催することとなった。また、シンポジウム、エクスカージョンの実施については、企画担当幹事（石井、内田、黒瀧、登尾（敬称略））を中心に検討することとなった。

2023年度研究会・総会
日時：2024年3月9日（土）
場所：福島大学・リモート併用
シンポジウム：検討（企画担当幹事）
エクスカージョン：検討（企画担当幹事）

3. 学会誌「復興農学会誌」の編集・発行状況について（杉野）

杉野 講師より、「復興農学会誌」の編集状況について、原著論文1報が新たに投稿され審査されていることが報告された。

また、「投稿フォーム」（案）（Google フォーム利用）が作られ、編集委員会で試用されていることが報告された。「投稿フォーム」（案）については、幹事会メンバーも試用し、意見等を杉野 講師、編集委員会に報告することとなった。

4. 2024年度日本農学会シンポジウムへの話題提供について（新田）【資料】

新田より、2024年度日本農学会で開催されるシンポジウムの話題提供について、提供者・内容の提出期限が過ぎているが提出するかどうかについて照会があった。審議の結果、今回は話題提供を見送ることと

なった。

2024 年度日本農学会シンポジウム
・ 話題提供締め切り：12 月 1 日（金）
・ テーマ：「日本の農学の国際貢献」（仮）
・ 開催日時：2024 年 10 月 5 日（土）午前 10 時より（予定）
・ 会場：東京大学弥生講堂・オンライン配信（ハイブリッド開催）
・ 参加対象：一般、学生・大学院生、若手研究者等

5. その他

(1) 日本農学会加盟学協会調査について（新田）【資料】

新田より資料にもとづいて、日本農学会加盟学協会調査を提出したことが報告された。

(2) 本学会名・「復興農学会誌」名の英語表記変更についての会員への意見聴取について（新田）

新田より、去る 7 月 2 日（月）に開催された幹事会で、本学会名ならびに「復興農学会誌」名の英語表記を変更することが了承されたこと（下記）、本件は総会で審議され了承される必要があるが、次回の「復興農学会誌」発行に間にあわせたいため、12 月中に会員にメールで審議することになっていたことが報告された。以上の点が確認され、会員にメール等で審議を依頼することとなった。

・ 学会名

現在 Society of Reconstruction Agriculture

変更案 Society of Resilience Agriculture

・ 「復興農学会誌」名

現在 Journal of Reconstruction Agriculture and Sciences

変更案 Journal of Resilience Agriculture and Sciences

以上

今後の予定

- ・ 月例会（第 8 回） 2024 年 1 月 9 日（火）17 時 00 分から
- ・ 月例会（第 9 回） 2024 年 2 月 6 日（火）17 時 00 分から
- ・ 幹事会（第 9 回） 2024 年 2 月 6 日（火）18 時 00 分から

（月例会：毎月第 1 火曜日 17 時 00 分から開催。幹事会：偶数月第 1 火曜日 18 時 00 分から開催）